

照陽の家だより

平素よりお世話になっております。今年の3月21日より照陽の家の管理者として赴任致しました仁宮寛人と申します。それまでは法人内デイサービスセンター清願の郷の管理者をさせて頂いておりました。移動して半年が過ぎ、これまでの単一のサービスからいわゆる4つのサービス（通い・訪問介護・泊まり・訪問看護）を提供する複合型施設の運営に関わり、住み慣れた地域でご自宅の生活を支える事の大変さや重要性を日々、受け止めながら元気で仕事が出来事に喜びを感じています。またコロナ禍の中、いかに利用者様の活動的生活を守り、その方にあった個別ケアを提供していくのか職員一同で考え利用者様を主役にする活動を心がけています。先日は今年度初の運営推進会議にも出席し地域の課題について様々なお話を聞く機会に恵まれました。課題は山積みですが地域の自治会長様、民生委員様に益々のご協力、ご指導をお願いし照陽の家と共に私自身が人として、管理者として成長していきたいと思っています。今後とも宜しくお願い申し上げます。（管理者 仁宮寛人）

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



ひなたぼっこ保育園の日常 米子市地域型小規模保育



一鉄屋
どれがいいかな〜



お団子を作りお地藏様にお供え



砂遊び



今年も豊作（紅あずき）

今月の言葉

挫折から起き上がること。
何度でも這い上がることが大事なんだよ。

〜ホセ・ムヒカ〜

身の回りにある小さな ~ 作業 ~ みんなで環境整備



照陽の家では感染対策として次亜塩素酸ナトリウムを用いてモップ掛けや手が触れやすい箇所の除菌を徹底しています。その感染対策はスタッフだけでなく利用者さんにも協力して頂き実施しています！

女性利用者さん中心ですがスタッフからお願いの声掛けすると「なんでもやりますよ」「私でよければ」とありがたい言葉を頂けます。

体調により取り組めないこともありますが利用者さんも一丸となって感染対策をすることで、今まで自宅で家事に専念された一面が垣間見ることができました。

☆照陽ニュース☆

9月作品紹介☆ 「15夜の宴」

ススキの穂は麻紐をボンドで固定して秋の風を表現しています。大きな月はちぎり紙を貼り立体感を出しています。画用紙を丸めてつけたウサギの尻尾が特徴です☆



「イモHORI☆」

子どもたちが一所懸命丸めたムラサキ芋ちゃん。芋ツルと地面の土は絵の具とクレヨンを使用して書きました☆躍動感たっぷりの「イモHORI」！何よりキュートな写真が特徴です☆



お団子作り



さつま芋堀



曼珠沙華を見ながら歩行訓練